

令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会

質 疑 発 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 9 日
安 曇 野 市 議 会

提出順	4	発言順	1	令和 8 年 9 月 2 日
				午前・午後 9 時 59 分受領

(2 枚中No. 1)

令和 8 年 9 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 吉澤 業帆

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	☒ 議案 ☐ 議員提出 ☐ 請願 ☐ 陳情 ☐ その他 第 63 号		
議案名等	安曇野市企業版ふるさと納税基金条例		
☐ 予算・ ☐ 決算 への質疑	☐ 歳入 ☐ 歳出 (款)	☐ 予算書ページ () 説明書ページ ()	☐ 決算書ページ () 説明書ページ ()
質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください)			
「企業版ふるさと納税は、地域再生法に基づき、 地域再生計画に記載された事業に対し、 市外に本社がある企業が寄附を行うことができる制度です。」 1. 一般向けのふるさと寄附とは別で基金を設置する理由を具体的にご説明ください。 基金を設置することによるメリットは、寄附者である企業側と、受け入れ側である市とそれぞれにとってどういったことがあるのでしょうか。 2. 「第2条 基金として積み立てる額は、予算で定める額とする」について、ご説明ください。 3. 寄附を充当する事業について、ホームページ等でピックアップする3事業「こども園の園庭芝生化」「東部アウトドア拠点」「水資源の保全・強化・活用 (地下水位観測、農地等における地下水かん養、小・中学校向け出前授業など、地域大学・研究機関等と連携)」がメインなの でしょうか。それ以外の事業に充てる場合との違いがあるのか教えてください。			

提出順	4	発言順	2	令和 8 年 9 月 2 日
				(午前・午後) 9 時 59 分受領

(2 枚中No. 2)

令和 8 年 9 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 吉澤 茉帆

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	☒ 議案 ☐ 議員提出 ☐ 請願 ☐ 陳情 ☐ その他 第 76 号		
議案名等	令和 7 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について		
☐ 予算・ ☒ 決算 への質疑	☐ 歳入 ☒ 歳出 (款) 2 款 1 項 10 目 人権啓発費	☐ 予算書ページ ()	☒ 決算書ページ (87～90)
		説明書ページ ()	説明書ページ (104～105)

質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください)

「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づき、展示や講座など多くの事業を実施されていますが、予算現額 17,156,000 円に対して、決算額 12,839,264 円執行率 74.8%となっています。

計画に対して、十分に実施できないものがあつたのか、費用を節減しながら十分な効果をあげることができたのか、状況や理由と成果への評価について教えてください。

提出順	2	発言順	3	令和 8 年 9 月 2 日
				午前・午後 9 時 29 分受領

(1 枚中No.1)

令和 8 年 9 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 菊池 久美子

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	☒ 議案 ☐ 議員提出 ☐ 請願 ☐ 陳情 ☐ その他 第 76 号		
議案名等	令和 7 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について		
☐ 予算・ ☒ 決算 への質疑	☐ 歳入 ☒ 歳出 (款)02 総務費	☐ 予算書ページ () 説明書ページ ()	☐ 決算書ページ (93) 説明書ページ (121～123)
質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください) 3 項 1 目 戸籍住民基本台帳管理費 ・②証明書コンビニ交付関係事業に「令和 7 年度は令和 6 年度と比較してコンビニでの交付率が約 20%上昇しました」とあるが、「交付手数料を一律 100 円値下げした」以外にはどんな理由が考えられるか。 ・「評価と課題等」での「窓口混雑の解消につながりました」とは、混雑が解消したということか。 ・「評価と課題等」における「受付体制の増強と再構築」は、具体的にはどのような内容か。			

提出順	3	発言順	4	令和 8 年 9 月 2 日
				午前・午後 9 時 38 分受領

(2 枚中No. 1)

2026年 9月 2日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 7 6 号		
議案名等	令和7年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について		
□予算・■決算 への質疑	□歳入 ■歳出 (款) 6	□予算書ページ () 説明書ページ ()	■決算書ページ (1 5 5) 説明書ページ (2 1 9)

質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください)

畑作園芸振興事業

1 市農業振興作物等推進事業 収入保険加入促進事業

2 果樹生産農家支援事業 果樹共済掛金助成事業

(1)一昨年度、昨年度に続いて収入保険加入事業の件数が増加し、果樹共済掛け金助成事業の実績が減少傾向にあるのは、どのような理由によるものか。関連性はあるのか。

(2)収入保険と果樹共済の保険適用は、何件あったか。また、保険適用となった場合や基準収入の 9 割を上回った減収でも、基準収入が下がっていくこととなるが、経営安定と継続のために農家はこれにどのように対応していると認識しているか。今後ますます災害等により保険適用の可能性が高まることが予想されるが、課題は何か。

提出順	3	発言順	5	令和 8 年 9 月 2 日
				(午前・午後) 9 時 58 分受領

(2 枚中No.2)

2026年 9月 2日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第76号		
議案名等	令和7年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について		
□予算・■決算 への質疑	□歳入 ■歳出 (款) 6	□予算書ページ () 説明書ページ ()	■決算書ページ (159) 説明書ページ (225)
質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください) 後継者育成事業 新規就農者育成総合対策等 5 つの事業実績の多くや新規就農者が減少傾向にあることについての評価と課題は。			

提出順	1	発言順	6	令和 8 年 9 月 1 日
				午前・午後 4 時 18 分受領

(2 枚中No. 1)

令和 8 年 9 月 1 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員

増 井 裕 壽

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 8 7 号		
議案名等	令和 7 安曇野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		
□予算・■決算 への質疑	□歳入 □歳出 令和 7 年度安曇野市水道事業会計決算書	□予算書ページ () 説明書ページ ()	■決算書ページ (2 9) 説明書ページ ()
質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください) ・水道事業の有収率について 年間配水量は 1,279 万 1,368 立方メートル、年間給水量は 955 万 9,876 立方メートルで、年間有収率は 74.7%となっている。決算概要を見ると、有収率は令和 3 年度 79.0%、令和 4 年度 79.6%、令和 5 年度 77.1%、令和 6 年度 75.1%、そして令和 7 年度 74.7%と、近年低下傾向にある。令和 7 年度の有収率が 74.7%となった主な要因について、市ではどのように分析しているのか。			

提出順	1	発言順	7	令和 8 年 9 月 1 日	
				午前・午後	4 時 18 分受領

(2 枚中No. 2)

令和 8 年 9 月 1 日

(宛先) 安曇野市議会議長 増田 望三郎

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

質 疑 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 8 年安曇野市議会 9 月定例会 (第 回臨時会)		
議案番号等	■議案 □議員提出 □請願 □陳情 □その他 第 88 号		
議案名等	令和 7 安曇野市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		
□予算・■決算 への質疑	□歳入 □歳出	□予算書ページ ()	■決算書ページ (41・42)
	令和 7 年度安曇野市下水道事業会計決算書	説明書ページ ()	説明書ページ ()

質疑内容 (質疑内容がわかるよう具体的に記載してください)

・資本費平準化債について
令和 7 年度は企業債を 13 億 2,150 万円借り入れており、そのうち資本費平準化債が 11 億 6,070 万円となっている。
一方、企業債の元金償還額は 24 億 8,377 万 6 千円で、年度末の企業債残高は 188 億 3,486 万 3 千円となっており、企業債残高そのものは前年度から減少している。
そこで、令和 7 年度に資本費平準化債を 11 億 6,070 万円借り入れた具体的な理由と、この借入れによって令和 7 年度の下水道事業の財政負担がどのように平準化されたのか。